

「第9回東海ゴム サッカーフェスティバル」開催 ～子どもたちがプロ選手のハイレベルな技を体感～

東海ゴム工業株式会社（本社：愛知県小牧市、代表取締役社長：西村義明）は、地元の子どもたちを対象としたサッカー教室「第9回東海ゴム サッカーフェスティバル」を、1月19日（日）に小牧市スポーツ公園で開催しましたので、お知らせいたします。



このイベントは、地域の子どもたちにサッカーを通してスポーツの楽しさや健康な体づくりの大切さを知ってもらおうと、2006年から毎年この時期に開催しています。

9回目となる今回は、サッカーJリーグ・名古屋グランパスエイトの牟田雄祐選手（DF）と本多勇喜選手（DF）のほか、コーチ4名が講師となり、参加した幼稚園児と小学生計約400名に、パスやヘディングなどを指導しました。選手らとのミニゲームでは、真冬の冷たい風が吹き抜けるなか、児童がプロの繰り出す巧みなパスを懸命に追いかけて、ボールの扱い方を学習しました。参加した児童からは「プロ選手のボールの使い方が分かった」「パス回しのコツを聞くことができた。試合に生かしたい」などの声が上がりました。

また、この日は、特別ゲストとして、当社が2008年度から取り組む社会貢献活動「東海ゴムの森づくり事業」を展開している長野県池田町の小学生も参加し、小牧の子どもたちと親善試合を楽しみました。

当社は、地域への貢献を企業の果たすべき使命と受けとめ、事業展開を進めております。今後も、地域に愛され必要とされる企業であり続けるため、こうした社会貢献活動に積極的に取り組んでまいります。



グランパス選手の指導でミニゲームに取り組む児童



小牧市(青)と池田町(赤)の児童による親善試合